① 日本国特許庁 (JP)

: . ①特許出版公開

◎公開特許公報 (A)

昭57-84724

Dint. Cl.

地別記号

庁内整理番号

❷公開 昭和57年(1982)5月27日

B 01 D 53/36 B 01 J 23/64 7404—4D. 7624—4G

発明の数 2 審査請求 有

(金4頁)

のアンモニア合有排ガス処理装置

版 昭56—161444 版 昭55(1980)11月18日

②発、明 者 後離外治

横浜市中区錦町12番地三菱建工

業株式会社構派研究所內

①出 版 人 三菱重工業株式会社

東京都于代田区丸の内2丁目5

看1号

砂板代理人 弁理士 内田明

外1名

5 発明の名称 アンモニア含有排ガス処理装置 5 新味噌噌の展現

- (i) カラス最終を担保とするアンモニア酸化処 細胞放在を用いるアンセニア含高許ガス処理 検査にかいて、ペースメメルを放押させた上 動放性と含金属を担押させた上配放便を組合 せて用いることを得象とするアンモニア含有 地方は無無無難。
- の 自政化ペースメメルを認識させた禁御を、 表取に安全員を提許させた放棄を放散すると とを帯像とする特別耐力の概要罪(項に記象
- (3) オタス酸級を担体とするアンモニア産化処理形態係を用いるアンモニア含有技术不処理 教育にかいて、ペースメタルを政策をせた上 記念機、労会販を維持させた上記解集、多と びアンモニアによる重要酸化制温供量元素板 を集合せて用いることを停祉とするアンモニ

(4) 前数にペースメテルを担待させた原標を、 中変にアンセニアによる機能酸化物源気景元 放送を、低変に受金属を抵押させた旅館を配 設するととを特徴とする毎計算水の視器部を 運転を飲め施設。

4.投資の発酵を発剤

水温度は、化学工場(原素・肥料工場等)、 アンセニア合成機ガス、 し原、下水体環境構力 ス、 放置機能機構ガス等アンセニア合本機ガス をアンセニア駅化放照用放棄を増いて起環する (起来を含む) 装置に関し、 特に放品場用放棄 D 欠点である NOX 発生を抑えて NS。 を完全に検 むし有る上面表表に属する。

アンルニア酸化色素溶放成として、 今日、 数多くの機能が生産されているが、 問題点は共産 して 284 を 36 まで象化表丁するのに 有効では かいまにある。

何えば、安全異系の上記技術では、低級新性 作者れた相点を有するが、326 を 26 まででを く、30x まで数化してしまう欠点があり、ペー

-117-

指數257- 84724(2)

スメメル系の上記放散では、NOXの発生は少い ものの、低級性能が介るため、高級で使用する。 と、では9 NOXの発生を支点がれない欠点がる。 る。

出版組は、上記を他の独裁の長折を集かし

大点を扱い合うで、5 5 0 で以上の高級であつて 5 MOX の先生をからえ、5 5 0 で以下の任業であって 5 MB 6 元のの関し得る関数を提供する 5 0 である。

ナセシ5本党項は、カラス線艦を提供とする。 IN 銀化的製品放業を用いる IN 含有許ガス的 単級費にかいて、

- (3) ペースメデルを指揮させた上の旅費(以下、 ペースメデル系放散という)と会会属を抵揮 させた上記旅費(以下、安全展系放業という) を組合わせるか。
- 切 上記録合せに 304 でよる 30x 遊択是兄弟係 (以下、20x 遊択是兄弟弟という)を加える。
 ことを存放とする上記録世に関するもので、 (3) の場合には持オスポペースメタル系数集から党金編系数集へと配れるようにし、 (3) の場合にはペースメタル系数集→全会展系数集→30x 選択是兄弟弟へと他れるようにすることを好ましい。
 変質策略とするものである。

ME, 比 MOX 企画表的式量先し、下配の反応表

1つて H_2 と H_3 0 化するとと ができる。 $4 HB_3 + 6 H0 \rightarrow 5 H_3 + 6 H_4$ 0 $4 HB_4 + 6 H0_3 \rightarrow 7 H_3 + 1 2 H_4$ 0

そつて、上町のの場合、ペースメタル 英雄雄と大金属系施銀を上町のの場合の配用金よりは 被少させ(例えばの平量とし)、 これら 両数 世界 成とる 50% を完全に行なわず、 20% を一類 数に 五 50% を完全に行なわず、 20% を一類 数に 五 40% を 20% の 内のに上 他 及此 文 の 大 20% を 20% の 内のに上 他 及此 文 の 大 20% を 2

本発明において、ペースメタル系放放として は、アコム(Ora Oz)、マグネシウム(MgO)。 最低(SDO)。数(PGO)。コペルト(GOD)。 エッチル(NIO)、マンガン(NIO)。ペナリウム(TaOa)、モリプデン(XOOa) 等、あるいはとれちの集合体等が、黄金属系放像としては、白金、ペラリウム、モリデンをお、またNOX 選択を元放業としては、鉄(PAO)。アロム(OTaOa)、ペナリウム(TaOa)、その他の上記ペースナメル系のもの等が存ましく使用される。

原名のフートラー、親ロリイメフシー、永の大名の5~のフェ(フイラメント数サル、2480~フミリの水/ボイボ)のガラス数種市にMac-conceでには200-conceでには200-conceでに200-conceでに200-conceでに200-conceでに200-conceでに200-concerでに200-concerでに200-concerでに200-concerで200-concerve200-

-118-

1/1 ページ

Searching PAJ

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

57-084724

(43)Date of publication of application: 27.05.1982

(51)Int.CI.

B01D 53/36

B01J 23/64

(21)Application number: 55-161444

(71)Applicant: MITSUBISHI HEAVY IND LTD

(22)Date of filing:

18.11.1980

(72)Inventor: GOTO SOTOHARU

(54) DEVICE FOR TREATING EXHAUST GAS CONTAINING AMMONIA

(57)Abstract:

PURPOSE: To enable an oxidizing treatment to be conducted efficiently even at a low temperature without by-producing harmful NOx by a method wherein a base metal-based catalyst, a nobel metal-based catalyst or a catalyst combined further with an NOx selective reduction catalyst is used when conducting an oxidizing treatment of an ammonia-containing exhaust gas.

CONSTITUTION: In a device for an oxidizing treatment of an ammonia-containing industrial exhaust gas to oxidize ammonia into N2 by heating in the presence of a catalyst, the exhaust gas is passed sequentially through a base metal-based catalyst, a noble metal catalyst or further through an NOx selective reduction catalyst each of which is supported on a carrier made of glass fibers. As the base metal-based catalyst, Cr2O3, MgO, SnO, FeO, CoO, NiO, MnO, V2O5, MoO3 or the like is used. As the precious metal-based catalyst, Pt, Pd, Rh or the like is used. Or, as the NOx selective reduction catalyst, a base metal-based one such as FeO, Cr2O3, V2O5 or the like is used. The catalytic activity of each of the catalysts is uniform and high in a temperature range of 250W350° C, and harmful NOx is not produced in the oxidizing treatment.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office